

AMPLIFIERS



1946年に、フェンダーアンプが初めて市場に紹介された頃は、「トランジスター」というものは、まだ実験段階にあり、集積回路などというものは、10年も後にならないと実用されませんでした。

今日では、ほとんどの楽器用アンプがトランジスターを使っており、船の先ほどのICチップが、かつてのぼろぼろのコンピュターにとって変わりました。

このようにエレクトロニクス技術が急速に発展しても、フェンダーアンプ

の真空管回路はほとんど変更されることなく受け継がれ、ピックアップから聴衆へギター之音を伝える回路の方法として、愛用されています。何故こんなことが可能なのでしょうか。

「魔術」といってはおかしいかもしれませんが、偶然なのかも知れません。しかし、明確なことは、今や伝説ともいえるフェンダーアンプの独特な獨特のサウンドは、すでに発表されたギタリストから愛用されていたということです。

